

## 伝統の酒造りと寺内町のまち“富田”

### まえがき

富田には、石器時代から人が住んでいたと思われる長い歴史があります。これには地理的な優位なものがありますが、それ以上に保存育成してきた歴史があるからこそ今日があると信じています。

平成 19 年（2007 年）から、富田地区交通まちづくり勉強会の参加メンバーとして、まず、富田の歴史や遺産を富田の先輩メンバーから学び、今後どうあるべきかを勉強して来ました。

富田地区交通まちづくり勉強会では、富田のマップを作ることになり、この勉強会で、歴史資源マップ専門部会を編成し、「“富田散策マップ”～酒造りと古寺の町を訪ねて～」を平成 23 年作成しました。このマップは再三増印され、今も富田の“まち”の散策に活用しています。

ボランティアグループ槻輪（きりん）は、2009 年（平成 21 年）に「わがまち学ぼう事業」を下記 3 団体共同で、講演会や現地散策を行いました。

- 高槻市文化財スタッフの会
- 高槻歴史散歩・槻歩クラブ
- ボランティアグループ槻輪（愛称：VG 槻輪）

この時、VG 槻輪が「伝統の酒造りと寺内町のまち“富田”」のガイドブックを作り参加者に配布しました。

参加者が大人数（約 150 名）だったので、少人数（約 30 名）のグループに分け、各グループにガイドやガイドの補助をする者 4～5 名が付き富田を案内しました。



その時の参加者には、高槻市以外の近郊のまちの方が多く参加して下さいました。今回は、もう少し深く幅広い内容をと心がけ、同じタイトルで「伝統の酒造りと寺内町のまち“富田”」とし、ガイドブックを作ることにしました。

富田の先輩たちは、「一口で富田は語れない」とよく言われます。

これは、古い歴史と個々に特徴のある集落が集まって構成された“まち”で、その面影が今もいたる所に残っています。

今回は、手元で使いやすい B5 判で編成しました。

また、VG 槻輪のホームページで、誰でも・どこでも見られるようにし、必要ならそのページを簡単に印刷できるようにもしました。

この歴史ある“富田”を何度でも訪問し散策し、新しい発見をして頂きたい！！